

2 年目第 1 弾！オランダから障害スポーツ専門家が来日 ～オランダオリンピック委員会・スポーツ連合との連携事業～

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの機運醸成に向けて、スポーツ振興・障害福祉・文化振興・子育て支援・教育など多面的に、だれもが楽しみながら健康になれるようスポーツ振興等事業に取り組んでいます。

今年度のオランダ連携事業は「感動体験から知る・学ぶ」がテーマです。

オランダ人選手との交流を通じて、パラスポーツの価値や可能性を体感するパラスポーツ体験事業やスポーツ教室を開催するとともに、パラスポーツを支える人材育成にも取り組みます。

今回は、障害者スポーツの専門家がオランダから 3 名来日します。



1 目的

オランダ連携事業の訪日プログラムとして、障害者スポーツに精通した専門家 3 名が来日することから、オランダにおける障害者スポーツのプログラム化、スポーツの要素を取り入れた健常者と障害者の相互理解の手法について体験を通して学びます。

2 開催日等

6月28日(木)

※時間・場所は調整中です。

3 事業概要

前半は、市及び地域のスポーツに関わる指導者等を対象とした障害者スポーツに関するワークショップを行います。

後半は、障害の有無にかかわらず誰もが楽しくスポーツを通して交流できる方法について、実践を通して学びます。子どもたちも参加し、パラスポーツに親しむ機会を提供します。

4 訪日予定者

リタ・ファン・ドリエル氏

小学校教員、ローラースキーやクロスカントリースキーのナショナルチームでのアスリート経験、各種ナショナルコーチ等を経て、現在は、オランダパラリンピック委員会事務局長、国際パラリンピック委員会理事・開発委員会委員長、国際オリンピック委員会大会調整委員会メンバー。NOC*NSF では、障害者スポーツプログラムマネージャーを務める。



マヨライン・デ・ブーア氏

障害者の体育教育・身体活動、特別支援を必要とする子どもへの教育に関する豊富な知識と経験を有する。オランダ、シンガポール、オーストラリアでのコンサルタント、教員、講師などの職も経験している。



ドルフ・ナイブルック氏

複数のスポーツクラブ等でトレーナー、コーチ、コンサルタント活動や様々な学校で体育教員を経て、1996年からオランダコーフボール協会ではスポーツコンサルタント活動を行う。



【問い合わせ先】 生活文化スポーツ部 スポーツ振興課（TEL：042-438-4081）

資料のポイント

オランダオリンピック委員会・スポーツ連合との連携事業
今年度のテーマは「感動体験から知る・学ぶ」です

- ・障害者スポーツの普及啓発、障害者の理解促進など、パラスポーツ（障害者スポーツ）を通じた社会課題等の解決に向けた取り組みで、2年目を迎えました。
- ・6月にはオランダから障害者スポーツの専門家の方3名にご来訪いただき、スポーツの要素を取り入れた健常者と障害者の相互理解の手法を学ぶイベントを開催します。